

区民の元気のきっかけづくり 案内板に記す郷土の歴史

「区民みんなの健康維持が1番大切。さらに、歴史に触れて地元を愛する心を持ち続けてほしい」と話すのは、「こうさんもん元気活動推進事業」で郷土の地図づくりに取り組んだ美濃田恵一区長

（上早川一区）。
同事業は、町が平成27年度に開始した地域コミュニティの活性化や地域力向上を目的に、地域住民の知恵や工夫を活かした地域が元気になる活動を町職員である「元気活動



上早川元気活動

Kamisougawa-genkikatsudou

かみそうがわ / 「こうさんもん元気活動推進事業」を利用して地区の名所などを記した案内板やウォーキング表を作成し地域力の向上を目指す。

「サポーター」が支援しながら取り組むもの。上早川一区と五区が共同で昨年度に地域の名所や旧跡を記した「上早川案内板」を作成。「地区住民や消防団などの力を合わせて、すばらしい看板ができました」と美濃田区長は振り返る。70歳以上のみの世帯が4世帯に1世帯と高齢化が深刻な問題となっているため、「区民が積極的に外に出て活動で

きるきっかけができれば」と、地域サポーターや区民みんなで考え、郷土の歴史と文化をチェックポイントとして巡ることが出来るウォーキング表を作成。また、名所の歴史などをまとめた看板をチェックポイントに設置した。「いつでもだれでも取り組めて、歩いた距離を記録できるウォーキング表で気軽に楽しく健康維持ができるようになれば」と美濃田区長。「看板に記載する来歴などを調べるために、地区の高齢者などからの聞き取りを行ったが、たくさんの方の協力を得ることができ、改めて地域での人と人とのつながりを感じることもできました」と笑みを見せる。

「今後、地図を使ったウォーキング大会の開催や、地図をパンフレットにして各家庭に配布する予定」と企画する美濃田区長。「案内板の設置などで、事業の足固めができました。これから区民がもっと元気になれる活動に取り組んでいきたい」と地域ぐるみで郷土の歴史を後世に伝える。